

2018年 4月10日

(臨床研究に関するお知らせ)

社会医療法人愛仁会高槻病院の腹部 CT 検査で門脈ガス血症と診断された患者さんへ

社会医療法人愛仁会高槻病院 消化器内科では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、当院倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われた方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

門脈ガス血症における予後因子の検討

2. 研究責任者

社会医療法人 愛仁会 高槻病院 消化器内科 医員 権田 真知

3. 研究の目的

門脈ガス血症は腸管壊死などに合併する予後不良の兆候と認識されていますが、近年では保存的加療で改善する症例もみられます。当院で腹部 CT 検査を受けられ門脈ガス血症と診断された症例について、それぞれの因子および加療後の転帰を照らし合わせ、予後につながる因子について検討します。予後因子が判明すれば、門脈ガス血症に際して緊急手術を要するかの判断に寄与する可能性があります。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

2012年4月1日から2018年3月31日までの期間中に当院にて腹部 CT 検査を受けられ、門脈ガス血症の診断に至り、当院にて加療を行った方が対象となります。

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、性別、年齢、症状、理学所見、血液生化学所見、CT 所見、治療方法、転帰に関する情報です。

(3) 方法

CT 所見で門脈ガス血症と診断した症例を抽出致します。それぞれについて上記調査項目と転帰から予後の指標となる因子を検討します。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させて頂きます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

〒569-1192 大阪府高槻市古曽部町 1-3-13

社会医療法人愛仁会高槻病院 消化器内科 担当医師 権田 真知

TEL : 072-681-3801 FAX : 072-682-3834

E-mail : m.gonda@outlook.jp